



地元の文化を大切に「滝山寺鬼まつり」開催

地元の滝山寺で行われ、鎌倉時代から続く800年の歴史をもつ「鬼まつり」を参観してきました。

午後3時より大松明行列から参加したのですが、滝山寺仁王門には、常盤小学校の子供たちはもちろんのこと、日頃、学校評議員としてお世話になっている方々や学区を支える活動に携わる地域の方々、保護者の方々など、知っている顔がいっぱいで驚きました。もちろん、孫面、若徒（わかとう）を務めた4年生3人の姿もあり、世代を超えた地域の人々の力があって、「滝山寺鬼まつり」があるのだと実感しました。滝山寺に向かって行列が進む沿道にも多くの方がみえ、三年ぶりの一般参観を楽しんでいるかのようでした。



午後5時から登山行列、続いて仏前法要、長刀お礼振り、鬼塚供養（豆まき）、庭まつり（田遊祭）と国指定重要文化財の本堂内や境内、舞台上で見ごたえのある演目が披露され、何と言っても7時45分からのクライマックスである「火まつり」には圧倒され感動で胸が熱くなりました。



明後日に滝山寺ご住職の山田亮盛先生にお礼の電話をしたところ、鬼まつり直後の壮介さんのインタビューの言葉に感動したとおっしゃられたので、早速ミクスネットワークに問い合わせたところ、編成部の方がインタビューの一部を教えてくださいました。壮介さんの祭り直後の感想インタビューの内容を紹介します。

- Q：終わった直後の感想は？ A：安全に終わって良かったと思いました。
- Q：火祭りはどうでしたか？ A：煙がすごかった。火が熱かったです。
- Q：一週間の精進について？ A：頑張ってた良かったと思いました。
- Q：何が一番大変でしたか？ A：朝6時にお寺にいったお経を唱えることが大変でした。
- Q：あらためて鬼まつりに参加してどう思いましたか？
- A：地域に伝わる一番有名なお祭りなので、この先も大切にしていけたらと思いました。



長縄チャレンジ ベスト記録をめざして 3

昨日、第3回の長縄チャレンジがありました。順調な学級もあれば、苦戦する学級もありました。大切なのは学級のみんなが励まし合い助け合うことで、失敗した子を絶対に責めないことです。思いやりの心あふれる学級であり続けましょう。明日がラストです。

最高	149	223	205	253	315	351		
学級	1の1	2の1	3の1	4の1	4の2	5の1	6の1	6の2
3回目	134	72	99	175	185	173	202	259
2回目	130	63	114	197	173	160	133	318
1回目	123	53	97	148	150	162	218	348